

長野県消費者フォーラム 大会宣言

最近の高齢者の消費者相談は、高齢人口の伸び率以上に相談件数が増加しており、本県においても、60 歳以上の方が当事者となる相談件数が年々増加し、平成 19 年度の 2 割から、平成 25 年度には全体の 4 割以上を占める状況になってきています。

また、もうかります詐欺、オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺の被害金額は、昨年過去最高の 10 億円に達し、本年に入っても 4 月末時点で 4 億円を超えるなど、過去最悪のペースで増加しており、中でも被害者の 8 割以上を 60 歳以上の高齢層が占めています。

判断能力の低下や社会との接点が希薄化する傾向がみられる高齢者は、悪質な業者から狙われやすく、自らの被害を自覚できない場合や、また、詐欺と気づいても相談することをためらうなど、二次被害、三次被害に広がっていくケースも数多くみられます。

高齢者の消費者被害を未然に防止するためには、行政による相談体制の拡充や啓発活動だけにとどまらず、地域で訪問・見守り活動を行っている組織や団体など、様々な人々が連携することが重要であり、地域全体で高齢者等を見守り、気づき、被害の未然防止につなげていく「見守りネットワーク」の構築が強く求められています。

本日のフォーラムを主催・共催している様々な組織・団体が協働して、地域における消費者被害防止見守りネットワークづくりに取り組み、皆で協力して高齢者に声をかけ、情報を届け、消費者被害に遭わない・遭わせない、安全で安心な地域づくりを推進していくことをここに宣言します。

2014 年 5 月 31 日